

**スクリーン3Dにさらに強力な新製品。
クロストーク0.4%という理想的なスクリーン。OSから登場。**

総合映像システム企業 株式会社オーエス（本社:大阪／代表：奥村正之）は、スクリーン3Dシステム用の生地として、新しく「SD201」を開発し発売を開始いたします。

今最も新しい映像“3D”には様々な方式がありますが、映画館などのスクリーン3Dと薄型ディスプレイ3Dに大別されます。今回発売致しますものは、その内プロジェクターを使用するスクリーン3D用の製品です。

スクリーン3Dは、原則として2台のプロジェクターで、右目用・左目用の各々の映像を、スクリーンに同時に投写し、それを右目左目で別々に見る事で立体視します。株式会社オーエスでは、従来から「シルバースクリーンSD」という生地を持ち、多数の施設で3D用として採用されてきました。しかし映像コンテンツの解像度が高くなり、プロジェクターの性能の向上とともに、左右の別々の映像が綺麗に重ならず、ダブって見える現象“クロストーク”が問題となっていました。新しく開発した「SD201」は、SD生地に改良を重ね、そのクロストーク率を業界最高水準の0.4%という、現在可能な限りの低い数値を実現いたしました。クロストークの最高値は完全に重なる0%ですが、0.4%はほとんど肉眼で気が付く範囲ではありません。

オーエスでは、今後フルハイビジョン3Dを導入するアミューズメント施設、プロジェクターの入れ替えを計画している施設の方々へ「SD201」を、自信を持ってお勧めいたします。



《製品名》

3D用ハイゲインスクリーン SD201

《発売開始日》

2011年3月24日（木）

《価格》 オープン

張込スクリーン PA

《SD201のスクリーン特性》

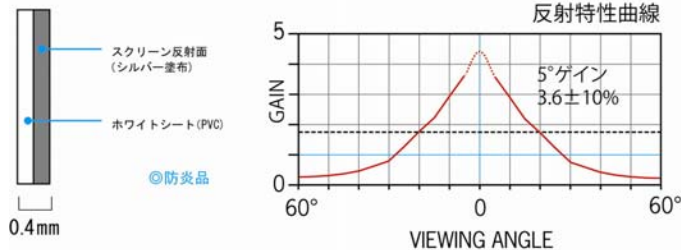
光学的な特性は、光源とは対称の方向へ光を反射する反射型の特性を持ちます。

SD201

光学特性：反射型

パッシブ方式3D専用シルバースクリーン。2台のプロジェクターが投写する右目左目のそれぞれの映像を、拡散させること無くしかも二重画像を防ぐ偏光性の高い、特殊なスクリーン

- 5°ゲイン $3.6 \pm 10\%$
- ハーフゲイン $20^\circ \pm 5\%$
- クロストーク0.4%



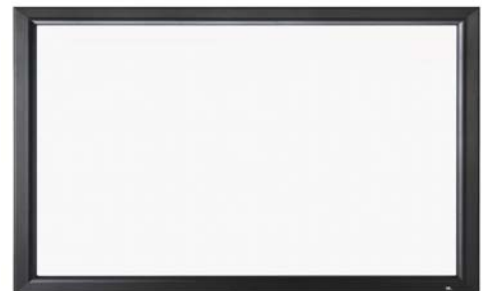
《SD201 採用の製品》

張込スクリーンPAシリーズ (写真)

理想的な 3D を再現するためには、

平面性が最も高い張込スクリーンが最適です。

(原則的には張込スクリーンとセット販売となります)



PA-100HD

《張込スクリーンのPAシリーズの特長》

1. プロジェクター投写用スクリーンとして最も平面性の高い、張り込み式を採用。
 2. 張り込みフレームは軽く、剛性の高いアルミフレームを採用。
 3. 補助金具無しで、簡単に取り付け可能なスプリングを採用。
 4. 現場搬入がしやすいノックダウン式を採用。
 5. フレーム方式のために、現場とプロジェクターに合わせた特注が容易。
- ※サイズバリエーション (最大寸法 200 型まで)



200 型のテスト風景

《張込スクリーンのPAのサイズバリエーション》

サイズバリエーション（最大寸法 200 型まで）

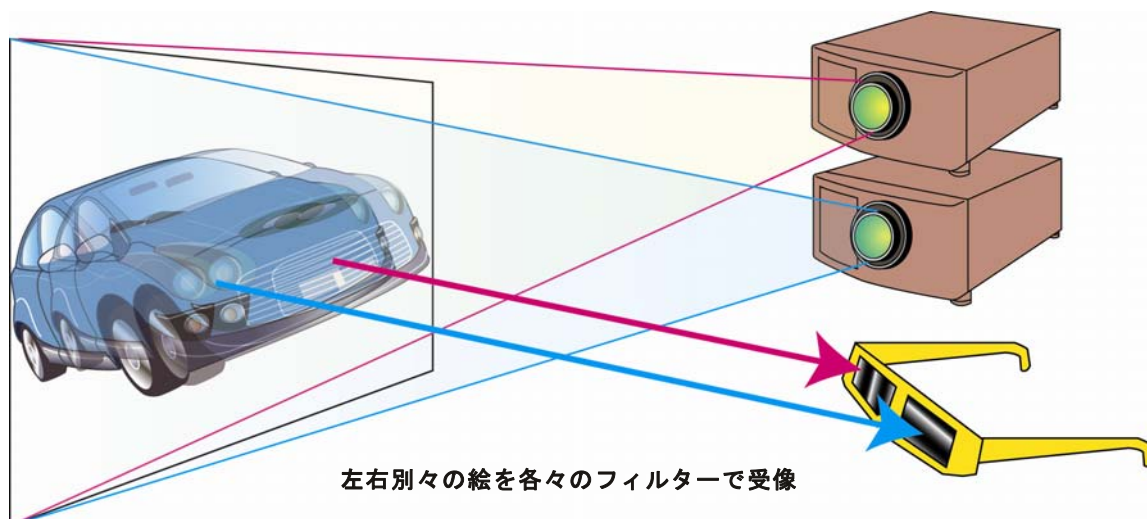
型式	スクリーンサイズ (mm) W×H×D	外形寸法 (mm) W×H×D	製品質量 (kg)
PA-100V-01/02-SD201	2032×1524	2236×1739×43	12.0
PA-120V-01/02-SD201	2438×1829	2642×2044×43	14.0
PA-150V-01/02-SD201	3048×2286	3252×2501×43	19.5
PA-170V-01/02-SD201	3454×2591	3658×2806×70	33.0
PA-200V-01/02-SD201	4064×3048	4268×3263×70	38.0
PA-100H-01/02-SD201	2214×1245	2418×1460×43	12.0
PA-110H-01/02-SD201	2435×1370	2639×1585×43	13.5
PA-120H-01/02-SD201	2657×1494	2861×1709×43	14.0
PA-130H-01/02-SD201	2878×1619	3082×1834×43	15.5
PA-140H-01/02-SD201	3099×1743	3303×1958×43	17.0
PA-150H-01/02-SD201	3321×1868	3525×2083×43	18.5
PA-170H-01/02-SD201	3764×2117	3968×2332×70	32.0
PA-200H-01/02-SD201	4428×2491	4632×2706×70	36.5

型式の01は黒色粉体塗装フレーム、02は黒色フロッキーフレームを表します。

《スクリーン3Dの原理》

ご自分の目を左右片方ずつ瞑りながら同じ対象物を見ると、対象物の見え方が違うことに気づきます。これは左右の目が別々の角度で見ている為です。この別々の像を脳が解析し、距離認識など立体として認知させてくれるのです。この原理を応用したものが3D映像システムです。

左右別々の絵を別々のプロジェクターで投写



左右別々の絵を各々のフィルターで受像

目は同時に別々の像を見ている為に、画像のダブリ「クロストーク」は、映像を見る上では非常に邪魔になる現象です。

※ 映像を3Dとして鑑賞する為には、専用のめがねが必要です。めがねを使用しない場合には、スクリーン上は二重の画像が見えるだけです。

《お問合せ先》

株式会社オーエス コンタクトセンター

東京都足立区綾瀬 3-25-18

TEL.0120-380-495 FAX.0120-380-496 E-mail info@os-worldwide.com

※接続できない場合には、次の番号をご利用ください。TEL.03-3629-5211 FAX.03-3629-5214

《広報お問合せ先・ニュース発信者》

株式会社オーエス マーケティングチーム 藤枝 昭

東京都足立区綾瀬 3-25-18

TEL.03-3629-5356 FAX.03-5697-0990 E-mail : a.fujieda@os-worldwide.com

株式会社オーエス 会社概要

名称：株式会社オーエス <http://jp.os-worldwide.com>

本社：大阪市西成区南津守 6-5-53 オーエス大阪ビル

本部：東京都足立区綾瀬 3-25-18 オーエス東京ビル

創業：昭和 28 年 4 月

資本金：4608 万円

代表者：代表取締役 奥村正之

事業内容：オーエススクリーンのブランドで文教・企業向けに数多くの製品を提供。スクリーンばかりでなく、プロジェクター、薄型ディスプレイハンガー等を活用したコミュニケーションシステムの構築。ウォールバック開閉や、ハンガー・バトン昇降・カーテン開閉などをはじめとした装置類の開発・設計・施工からトータルコントロールシステムまで、一貫したソリューションを提供する。

営業所： 仙台、首都圏、新潟、名古屋、北陸、京都、大阪、広島、福岡

《関連企業》

株式会社オーエスエム 本社：兵庫県宍粟市 <http://jp.os-worldwide.com/osm/>

株式会社オーエスプラス e 本社：東京都足立区 http://jp.os-worldwide.com/os_plus_e/

株式会社オーエス沖縄黒板 本社：沖縄県中頭郡 <http://jp.os-worldwide.com/osb/>

OSI CO., LTD. (Hong Kong) <http://hk.os-worldwide.com/>

喜摩租賃(北京)有限公司：中華人民共和国 <http://www.cima-net.cn/>

北海道地区販売代理店：東和 E&C 株式会社

沖縄地区販売代理店：株式会社オーエス沖縄黒板

《日本総販売代理店》

OPTOMA 社(台湾)／ 世界初のポケットプロジェクターを発表した DLP プロジェクターメーカー

Vogel's 社 (オランダ) ／フラットディスプレイなどのスタイリッシュハンガーメーカー

SCREEN RESEARCH 社 (フランス) ／ THX、ISF 公認のサウンドスクリーンメーカー

AV Stumpfl (オーストリア) ／画像処理技術で世界的に定評あるメーカー

EASTONE 社(日本)／国産唯一の THX 認定スクリーン、eco スクリーンを開発する国内メーカー

AV Stumpfl GmbH (オーストリア) ／ 大型映像の感動を更に効果的にする視覚コントロールシステム